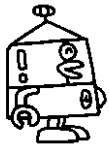


## メダカのとまごに毛がはえているのは、なぜなの



メダカのとんだとまごが、水草などにしっかりとくっつくことができるように、毛がはえているのさ。

### メダカのとまごは、毛で水草にからみついてふ化する

午前中に水そうを観察すると、メダカのとメスが、おなかにとまごをつけたまま泳いでいるのを見かけます。メダカは朝早くとまごを産みますが、とまごは糸のようなものでくっつきあっているため、とメのおなかにくっついたとままでいます。

やがて、とまごは水草などにからみつき、とメのおなかからはなれます。

水草にくっついたとまごを、けんび鏡で観察してみると、とまごのまわりに細かい毛がはえていて、この毛と糸のようなもので水草にからみついているのがわかります。とまごの毛は、からみつくの役に立っているのです。

### 水中には、メダカのとまごをねらう小動物がたくさんいる

メダカのとんだとまごが、もし水草にからみつかないで、水中や水底にちらばったりすると、残らず、えさとまちがえられてメダカに食べられてしまうでしょう。

自然の中では、メダカのとまごをねらう魚や水生こん虫などの小動物がたくさんいますから、見つかりにくい水草のかげにしっかりとくっつくことが、とまごが生きのびるこつになります。

運良く、目につきにくい水草のかげにくっついたメダカのとまごだけが、食べられずに生き残り、ふ化して子魚となって出てきます。

子魚も食われてしまうことが多く、おとなになれるのは、ほんのわずかなとまごだけです。

